

生涯学習



「安野光雅展 描くことば・読む絵画」
(2009年7月25日～9月27日)の
展示解説の様子

社会教育委員

社会教育委員は、教育委員会の行う社会教育行政に関する諮問機関として設けられた制度です。社会教育行政に広く各方面の良識と経験を反映させ、地域の社会教育・生涯学習活動が民間と行政の緊密な連携のもとに進められるために重要な役割を果たすものです。

その構成について、また職務としての役割については社会教育法に規定されています。

社会教育委員の職務は、教育長を経て教育委員会に助言をするための職務、教育委員会に対して直接行う助言的職務と、市町村の社会教育委員に限って本来の諮問機関としての職務のほか実践的な指導の職務があります。

社会教育委員は、学校教育及び社会教育・生涯学習の関係者並びに、学識経験者で構成されています。任期は2年、定数は15名以内と条例で定められています。

町田市社会教育委員の会議では、いろいろな答申や提言を行い社会教育・生涯学習の推進に努めています。その主なものは下表のとおりです。



社会教育委員の会議

社会教育委員の答申・提言の一覧表

答申・提言名	答申日	内 容 (骨 子)
青少年施設の有機的連携と平日利用のあり方について — 答 申 —	1998. 4. 27	○ 大地沢青少年センター、ひなた村の現状と課題、子どもセンターのあり方。青少年施設の有機的連携（人的な連携、事業の連携、施設の連携）のあり方。
町田市における家庭・学校・地域の連携を強化する社会教育（青少年）行政のあり方について — 提 言 —	2000. 3. 29	○ 町田市の子どもの実態、子どもたちを取り巻く学校・家庭・地域の現況、青少年育成団体・青少年施設の現状と問題点、家庭・学校・地域の連携を強化するための検討事項「町田市子育て活性化緊急プラン」の提示。
町田らしい生涯学習推進（支援）計画策定に向けての重点施策について — 答 申 —	2002. 4. 22	○ 行政が生涯学習に取り組む必要性。町田市の生涯学習推進に必要な8つの方策を提示。 町田らしい生涯学習社会を構築するための具体的施策。
町田らしい生涯学習推進（支援）計画策定に向けての重点施策について — 第二次答申 —	2004. 4. 22	○ 町田市における学習機会の提供とその現状。地域の学習環境の見直し。それぞれの地域（住区）で特に必要とされる世代の生涯学習の内容とその仕組み。町田らしい「活躍する人が育つ」生涯学習社会を推進するための具体的施策。
町田の地域活動を活性化させるための生涯学習プログラム～学校の特別教室を利用した生涯学習クラブの設立～ — 提 言 —	2006. 4. 25	○ 子どもに関わる問題、高齢者に関わる問題、社会教育の課題、町田市固有の課題。市民の中に生まれた活動の具体例、活動事例からの示唆、町田の生涯学習の方向。学校の特別教室を活用した生涯学習プログラムを展開するための具体的施策。
子ども行政一元化に向けた組織改正に関わる青少年教育について — 提 言 —	2008. 2. 7	○ 子ども行政一元化に向けた組織改正に関わる青少年教育について、4つの施策を提言。
今後の生涯学習施策について — 提 言 —	2008. 4. 22	○ 組織改正にあたり、生涯学習と社会教育の捉え方、首長部局と教育委員会の協力、生涯学習推進を支える行政の役割の明確化、生涯学習に関するネットワークの構築、学校をめぐる市の施策の整理と方針の明確化、市民協働を推進する上で生涯学習が果たす役割について6つの項目を提言。

教育委員会では、市民の生涯学習にかかわる条件整備の一環として、1993年6月に「まちだ市民大学HATS」を開校しました。2008年度は次のとおり通年と前・後期に分けて講座を開催しました。今後は市民大学推進計画に基づいて市民の参加を拡大し、より多彩な学習機会の提供に努めていきます。

〈通 年〉

○ 多摩丘陵の自然入門

多摩丘陵の自然に親しみ、自然保護の実情を知っていただく講座です。

○ まちだの福祉

ボランティア活動を身近なものとして捉え、障がい者や高齢者と共に生きる地域づくりを考えるために、市内福祉施設での体験学習や、合同講義を通して町田の福祉を学びます。

〈前 期〉

○ 町田の環境・参加体験講座「ここからはじめるボランティア」

地域におけるリサイクルや環境改善への取り組みについて体験を通して学びます。

○ 心と体の元気学（前期分）

明るく、楽しく、元気よく、健康な身体づくりを始めましょう。この講座は、身体を動かすきっかけづくりとして、誰でも楽しく参加できます。

○ まちだ市民国際学「現代国際政治の課題—G8サミットを機会に考える—」

2008年、日本では「アフリカ開発会議」、北海道洞爺湖サミット」など国際会議が目白押しです。そもそも「サミット」とは何でしょうか。本講座は現代の国際社会と政治問題について多角的に学び、私たち市民にとっての今後の課題を考えます。

○ 町田の郷土史Ⅰ「縄文から幕末まで」

町田の歴史を学ぶための入門的講座です。縄文から幕末まで時代をおって学習します。

○ 環境にやさしい電動ロクロ入門講座

電動ロクロの初歩的な創作活動を、創作の喜びと楽しみを味わいながら体験します。学習に

当たっては環境に配慮したりリサイクル粘土を使用し、地球にやさしいやきものを目指します。

○ 環境にやさしい陶芸入門講座（前期分）

粘土との出会いをとおして陶芸芸術文化を味わいます。また、地球にやさしいやきものリサイクルについても学びます。

○ 人間関係学「人間関係の多様性と向き合う」

かけがえのない個としてお互いを認め合い、自分らしい生き方をするために、ライフステージの様々な場面における人間関係について学びます。

〈後 期〉

○ まちだ市民環境講座「中国の今を知る・私たちの未来を考える」

現在、中国には世界から熱い注目が集まっています。中国の今後の在り方は日本や世界に大きな影響を与えます。本講座では今日の中国を学び、私たちとの関わりを探ります。

○ まちだ市民国際学「アジアの中の日本」

アジアの大国である中国やインドが急速な経済成長を遂げています。その中で私たちは、何処に位置し、今後何処に向かおうとしているのでしょうか？この講座は、アジアの中の日本がどのような立場にあるかを、いくつかの切り口から考えます。

○ 町田の郷土史Ⅱ「明治から現代まで」

町田市の歴史を学ぶための入門的な講座です。明治から現代まで時代をおって学習していきます。

○ 環境にやさしい陶芸入門講座（後期分）

粘土との出会いをとおして陶芸芸術文化を味わいます。また、地球にやさしいやきものリサイクルや土器の野焼きを取り入れて学習します。

○ 人間科学「現代の『生老病死』と向きあう」

現代医療と人間にかかわる諸問題を科学的にとらえ、かけがえのない「いのち」について、人権と生命倫理の視点から学びます。

○ 心と体の元気学（後期分）

※内容は前期と同様です。

生涯学習情報の提供、団体活動の援助

市内には学習・文化活動を行っている社会教育関係団体が数多くあります。また、近年では個人の生涯学習に対する関心も高まっています。

そこで、教育委員会では、市民の皆さまにさまざまな生涯学習に関する情報をお届けするとともに、市民団体の自主的な生涯学習活動がより活発に展開されるよう、いろいろな制度を設けて援助を行っています。

(1) 情報提供・相談

① 情報コーナー

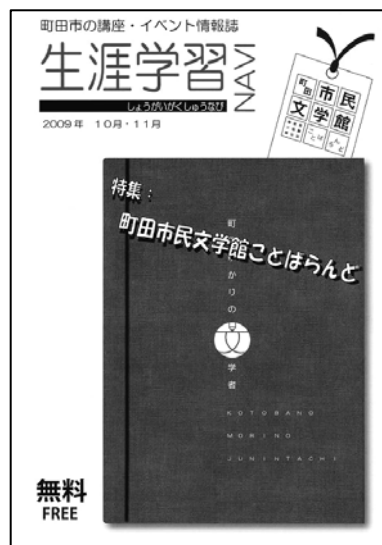
市役所森野分庁舎の1階に「情報コーナー」を設置しています。このコーナーでは、各方面から送付される定期刊行物及び講座・催し物のチラシ配布、ポスター掲示をし、町田市内に限らず、他の地域や学校等も含めたさまざまな生涯学習に関する情報が閲覧できるようになっています。



情報コーナー

② 生涯学習NAVI

生涯学習課では市民の生涯学習に役立てていただけるよう、町田市の講座・イベント情報誌「生涯学習NAVI」を発行し、無料で配布しています。市民に知っていただきたい生涯学習の事業を特集するとともに、市内や近隣の地域で催される講座及びイベント等を紹介しています。



生涯学習NAVI

また、市民の皆さまの生涯学習に関する各種の相談も職員が随時受け付けています。

(2) 補助金・講師派遣

① 社会教育関係団体事業費補助金

市民を対象に行う発表会・講演会、青少年健全育成に関する事業など、社会教育の振興を促進させると認められる事業を行う社会教育関係団体に対し、講師の謝礼、会場の借上料及び印刷費等の事業にかかる経費の一部を援助しています。

② 社会教育関係団体講師派遣制度

学習・文化活動を行うことを目的として活動する市内の団体が、会員以外にも広く参加を呼びかけ、講師を招いて実施する学習会・講演会に対し、その講師の謝礼を援助しています。

町田市の公民館は、昭和25年に原町田公会堂を譲り受け、町田町公民館として利用されるようになったのが始まりです。その後昭和53年（1978年）に建て替えを行い、町田市公民館となりました。しかし、市民のニーズに充分応えるには手狭になったため、原町田六丁目市街地再開発事業で建設する商業ビル内に新公民館をつくることになり、1998年に利用者・地元住民・学識経験者等で構成する公民館移転建設検討委員会が組織され、2000年9月に実施計画が報告されました。2002年6月に竣工、2002年10月に『まちだ中央公民館』としてオープンしました。

公民館では、さまざまな事業を行っており、またグループ活動や集会などへの会場提供などをおして、市民の文化・学習活動の機会提供に努めています。

(1) 施設概要

- 所在 町田市原町田6-8-1
- 電話 728・0071
- 構造 鉄骨鉄筋コンクリート、一部鉄筋コンクリート・鉄骨造地下2階・地上8階建ての内、6階～8階
- 延床面積 2,676.84㎡

(2) 施設内容

- ホール 定員158名
- ホール控室 定員10名 2室
- 学習室 定員30名 1室 定員21名 1室
定員18名 1室 定員15名 2室 定員12名 2室
- 調理実習室 定員37名
- 美術工芸室 定員30名
- 視聴覚室 定員36名
- プレイルーム 定員18名
- 音楽室 定員24名 1室 定員18名 1室
- 和室 定員45名 1室 定員24名 1室
- 保育室 定員20名 1室

(3) 利用案内

- 利用時間 午前9時～午後10時
- 休館日 第2・4月曜日（祝日、振替休日にあたるときは、その翌日）、12月28日～翌年1月4日
- 利用方法
原則として、どなたでも自由に利用することができます。

ただし、公民館の利用目的外（社会教育法第20条）の場合は、ホール、諸活動室、附属施設は有料、その他は無料で利用できます。

(4) 各種講座等の開催

公民館では講座、講演会、コンサート等を開催しています。講座・講演会の一部は、公民館から出向き、地域でも開催しています。

また、市民企画による講座・学級、公民館まつりなど、さまざまな事業を実施しています。

① 講座型

講座型の事業では、市民講座や文学講座、家庭教育、女性セミナー、男性学セミナー、市内の大学・民間企業との共催などを実施しています。

市民講座や文学講座は、今日的課題や趣味・教養に関する内容などで実施しています。

家庭教育学級は、子どもを持つ親を対象に実施しています。乳幼児・小学生・中学生の3つのコースがあり、それぞれ今日的課題について学んでいます。

女性セミナー、男性学セミナーは、男女平等参画社会の実現という視点から、教育・家族・社会問題など全般にわたるテーマでおこなわれています。

② 講演会等

身近な問題を中心に、だれもが気軽に参加できるような内容で単発の講演会やコンサートを実施しています。また、青少年を対象に夏休み子どもフェアや春休み子どもひろばなども行っています。

③ 市民企画型

市民が企画する事業として、市民企画講座と自主男女共生学級があります。

市民企画講座は、市内各地域での住民による

主体的な講座開催を目的とし、市民5人以上で組織する運営委員会が公民館職員と協力して企画、運営、実施するものです。生活の改善や住みやすい街づくりにつながり、公民館周辺以外の施設で実施予定の企画を優先的に採り上げます。

自主男女共生学級は、変動する社会のなかで、継続的かつ集団での学習をとおして、ジェンダー（社会的文化的につくりあげられた性別）を超えて、男女平等参画型社会の実現を目指しています。10～20名で集まり、学級内容を決めて、自主的に運営していくもので、講師謝礼と保育を公費で行っています。

④ 公民館まつり

公民館を利用している多くの団体、サークルが、日頃の成果を発表し、交流する場として1981年から毎年行っています。



公民館まつり

(5) ことぶき大学

ことぶき大学のはじまりは、1966年に開催された高齢者の学級です。対象は60歳以上の方で、内容は、日本経済の動向、長寿の秘けつ、芸術鑑賞、老後の生活設計、高齢者の健康管理などでした。その後、高齢者の増加と多様な学習要望に応えるために制度の改正を行い、現在にいたっています。歴史・文学等概ね10コースを実施し、“楽しく学んで豊かに生きる”をモットーに約1,000名以上の方が、学習や交流に楽しい時を過ごしています。

(6) 障がい者青年学級

1974年、障がいのある青年20名の参加で開

設された障がい者青年学級は、現在、170名を越える青年が参加し、6月～3月まで月2回の日曜日に公民館とひかり療育園を会場に、さらに1997年度に町田第二小学校で始まった土曜学級が現在では月2回の土曜日に公民館を会場に活動を行っています。この青年学級は、障がいの教育保障の視点から開設しているもので、“生きる力、働く力”の獲得を目標に学習活動、自治活動、仲間づくり、集団づくりを行っています。

(7) 町田市公民館運営審議会

公民館運営審議会は、学校関係者（1名）、学識経験者（3名）、公募の市民（11名）からなる15名の委員で構成されています。毎月定例会を開催し、館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施につき、調査、審議を行っています。2004年1月には「障がい者青年学級の将来的あり方について」の答申を作成したほか、公民館利用者懇談会などに関わっています。

2008年度 公民館事業一覧

形態	対象	事業名	開催月	回数	形態	対象	事業名	開催月	回数				
講座 一般	市民講座	・ ゆかたで着付け 今年こそゆかたで行こう	7~8	2	市民 企画 画 事 業 学 級 生	市民企画講座	● 知ろう！学ぼう！大人も子どもも 大切な心と体(子ども参加型)	9~11	5				
		・ バイブオルガンの魅力	10~12	5			● 知って得する！あなたのための議会と議員の使いこなし術	9~11	5				
		・ 男の料理入門講座	2	4			● パパもママも考えて！本当に子どもと安心できること	9	2				
		・ あなたが裁判官!?	11	2			● 「日本国憲法は時代遅れか」パートII	9~10	5				
		・ 時事問題講座 世界金融危機はなぜ起きたか	3	3			● 「ごんきつね・葉っぱのフレディー」群読で文字に命を！	11~1	5				
		高齢者共催事業											
		・ アクティブエイジ講座(1)	5	4			● 心とつながる伝統祭	12~1	5				
		・ アクティブエイジ講座(2)	2	4			● 聴いているようで聴けてない人の話！	12	3				
		・ イタリアフェア(国際版画美術館・図書館・商工会議所)					● 子どもと遊べる 親業養成講座	1~3	5				
		ピラネーゼ版画の魅力	10	1			● 「ごんきつね・葉っぱのフレディー」群読で文字に命を！	1~2	5				
		イタリア料理の楽しみ方	10	1			● 子育て応援講座 ママへの贈りもの	2~3	4				
		イタリアワインと料理のタペ	10	1									
		イタリアオペラ	11	1									
		家庭教育学級											
		・ 乳幼児を持つ親のための講座	2~3	7									
・ 小・中学生を持つ親のための講座	1~3	8											
講座 少子 高齢	親と子の交流ひろば	・ とことこ	9~10	8	こ と 高 ぶ き 大 学	自主男女共生学級	● 学級(学習)活動	6~3					
		・ パバきしゃ	4~3	10			● 開級記念講演会	6~3	164				
		・ きしゃボッポ	4~3	33			・ 「社会教育における出会いと学び」	7	1				
							・ 「日本とドイツの家族比較」	7	1				
							・ 「恋愛・結婚とジェンダー」	7	1				
							● 研修企画						
							・ 「性・人間・生きる」～自分を分かる・人間をわかる	11	1				
							・ 社会教育と三多摩テラゼ 公民館のこれからを考える	11	1				
							・ おばあさんたちの見る夢						
							宇野千代・中里恒子の『往復書簡』に学ぶ	12	1				
							● 閉級式(3回とも研修会のテーマから一つを選んでグループ討議)						
							・ 1回目	3	1				
							・ 2回目	3	1				
							・ 3回目	3	1				
		講座 一般	和太鼓一日体験講座 バイブオルガンコンサート 時事問題講座 労働は商品じゃない 人権講座 コクーンコンサート 昭和薬科大学共催事業 「骨と健康と栄養」あなたの骨は大丈夫？(昭和薬科大) 国際版画美術館共催事業 中国の山水と花鳥一明清絵画の優品一(国際版画美術館) 博物館共催事業 駿府博物館所蔵 日本画名品展(博物館) 身近な病気や感染症に気をつけよう サタデーコンサート サタデーコンサートVOI、39 甲斐洋平ピアノリサイタル サタデーコンサートVOI、40 まちだフレッシュコンサート サタデーコンサートVOI、41 秋に寄せて サタデーコンサートVOI、42 ショパンの憧憬 サタデーコンサートVOI、43 クラリネットの魅力II サタデーライブ サタデーライブ6 編鐘 ゆらぎのコンサート 夏休み子どもフェアー・平和祈念事業 戦時資料展 「原爆と人間展」(パネル展) 夏休み子どもコンサート(みんな集まれコンサート) 春休み子どもフェアー 劇団スタジオライブ公演 影絵劇 午前 「あらしのよるに」「100万回生きた猫」 午後 「銀河鉄道の夜」 科学っておもしろいよ！ 手軽にできるイタリア家庭料理講座 ワンランク上の料理教室 災害!!その時どうする?防災展(防災課) 普通救命救急講習会(AED従事者対応)(町田消防署・防災課) 協和発酵バイオフロンティア研究所見学会 三菱化学生命科学研究所見学会	5			1	障 が い 青 年 学 級	こと高ぶき大 学	①文学コース・・・文学がちよっと苦手だった人のための文学講座	6~10	6	
					②歴史コース・・・織田信長とその時代	6~10	6						
					③美術コース・・・世界の美術館を楽しむ	6~11	6						
					④音楽コース・・・「J. S. バッハの音楽」とその魅力	6~10	6						
					⑤日本の伝統文化コース・・・日本の伝統文化にひたろう	6~10	6						
					⑥くらしコース・・・豊かな生活設計	6~10	6						
					⑦健康コース・・・東洋医学入門	6~9	6						
					⑧薬草コース・・・薬草の知識をひろげよう	6~10	6						
					⑨ウォーキングコース・・・認知症予防の効果的なウォーキング	6~11	7						
					⑩町田の歴史散歩コース・・・町田を歩いて知ろう	10~11	6						
					●開級式								
					公民館学級	6	1						
					ひかり学級	6	1						
					土曜学級	6	1						
					●学級活動								
			①公民館学級 原則として第1・3日曜日に月2回実施(公民館)	6~3	15								
			②ひかり学級 原則として第1・3日曜日に月2回実施(ひかり療育園)	6~3	15								
			③土曜学級 原則として第2・4土曜日に月2回実施(公民館)	6~3	15								
			●合宿										
			公民館学級	12	2								
			ひかり学級	11	2								
			土曜学級										
			●成果発表会										
			公民館学級	3	1								
			ひかり学級	2	1								
			土曜学級	3	1								
			●担当者会議	4~3	42								
			●担当者調整会議	4~3	4								
			●ニュース作り	4~3	16								
			●青年学級を語る会										
			公民館学級	4	1								
			ひかり学級	4	1								
			土曜学級	4	1								
市制 50 周年 事業	サルビアフェスタ 作って・あそんで・楽しむ 東京女学館大学・まちだ公民館との共催による講座 ①地球の悲鳴 ②生涯幸福論 本当の人生の楽しみ方はどこにあるのか ③インドシナ諸国と日本 フェアリーの宝物を探そう 横浜線開業100周年記念事業(ミニ列車・ミニSL) 横浜線開業100周年記念事業(講演会) 原町田周辺今昔写真展 第3回総合健康づくりフェアー2008 昭和薬科大学・まちだ中央公民館との共催 「脳梗塞」について知っておきたいこと	9	1	そ の 他	公民館だより(発行6回/編集会議12回) 編集委員:市民公募3名・公運審2名 印刷機講習会(年10回)	●スポーツ大会(東京都)	11	1					
							●スポーツ大会(町田市)	3	2				
							●学級活動総括	10	1				
							●公民館まつり参加(年1回)						
							●公民館まつり参加(年1回)						
							第28回公民館まつり(10月24・25・26日)						
							実行委員会	5~10	4				
							展示	10	3日				
							発表	10	3日				
							模擬店	10	3日				
							来館者	10	3日				
							公民館だより(発行6回/編集会議12回)	4~3	12				
							編集委員:市民公募3名・公運審2名						
							印刷機講習会(年10回)	4~3	10				

市立図書館の前身は、1953年ごろ町田町役場内に設置された図書室で、1956年9月に「町田町立図書館」となりました。開館当初は蔵書が1,000冊にも満たない閲覧中心の施設でした。1958年2月、市制施行に伴って館名を「町田市立図書館」と改め、更に1968年9月には中町2丁目に移転して、プレハブ建てながらも個人貸出しの図書館としてスタートしました。その後移動図書館「そよかぜ号」の巡回を1970年10月よりはじめ、1972年5月には建て替えにより新装オープンしています。また、1972年2月に「鶴川分館」（1977年10月に現在地に移転）、1974年6月に「金森分館」（2000年7月に現在地に移転）、1976年7月に「木曾山崎分館」、1983年9月には「堺分館」がそれぞれ開館しました。

1980年代後半から新しい図書館の建設を望む声が高まってきました。これを受け1990年11月に中央図書館が開館、CD、ビデオなどの貸出や館内視聴といった新しいサービスが始まりました。貸出返却をコンピュータで行う市内の中心的図書館の誕生です。これに伴って「町田市立図書館」は「さるびあ図書館」に、その他の分館もそれぞれ「図書館」に名称を変え、地域館として新たなスタートを切りました。1992年の7月には市立の図書館全館をコンピュータで結ぶオンライン化も完成しています。

1998年12月、隣接する相模原市との間に相互利用協定が結ばれ、町田市民の方も相模原市の図書館が利用できるようになりました。その後1999年4月からは祝日開館、平日の開館時間の延長及び地域館の夜間延長の実施、同年11月には貸出冊数制限の緩和を行いました。

そして、インターネットの普及に対応するため、2004年4月よりホームページ上での蔵書の公開とリクエスト受付を実施、同時に電子メールによる利用者への連絡サービスも行っています。

2005年10月からは、従来の火・金曜日に加え、水曜日についても開館時間の延長を実施し、より使いやすい図書館を目指しています。2007年10月には隣接する八王子市と、さらに2008年4月には府中市・調布市・日野市・多摩市・稲城市との間に相互利用協定

が結ばれ、町田市民の方も前記各市の図書館が利用できるようになりました。また、同年6月からは、さるびあ図書館による市立小・中学校図書館への学校図書館支援貸出を開始しています。

開館時間と休館日

館名	開館時間	
中央図書館	火・水・金	午前10時～午後8時
	木・土・日 祝休日	午前10時～午後5時
さるびあ・鶴川 ・金森・木曾山崎 ・堺図書館	火・水・金	午前10時～午後6時
	木・土・日 祝休日	午前10時～午後5時
町田市民文学館	火～日 祝休日	午前10時～午後5時
休館日	・毎週月曜日(祝休日の場合は開館) ・毎月第2木曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館) ・特別館内整理期間 ・年末年始	

(1) 館内・貸出しサービス

① 館内閲覧

利用者が自由に図書を選べるよう開架式書架としています。中央図書館、さるびあ図書館、金森図書館、堺図書館では文献の複写サービスも行っています。

町田市立図書館一覧

館名	所在地	電話	開館年月日	建物面積
中央図書館	原町田 3-2-9	728・8220	1990. 11. 30	5,262.00 m ²
さるびあ図書館	中町 2-13-23	722・3768	1972. 5. 22	1,234.32 m ²
鶴川図書館	鶴川 6-7-2-1-101	735・5691	1972. 2. 15	259.75 m ²
金森図書館	金森 1021	710・1717	1974. 6. 3	1,494.56 m ²
木曾山崎図書館	山崎町 2160	793・6767	1976. 7. 15	320.60 m ²
堺図書館	相原町 795-1	774・2131	1983. 9. 25	429.00 m ²
町田市民文学館	原町田 4-16-17	739・3420	2006. 10. 27	2,156.27 m ²

② 館外貸出し

市内にお住まいの方、市内の会社、市内の学校へ通っている方や、相模原市・八王子市・府中市・調布市・日野市・多摩市・稲城市の各市にお住まいの方にも図書等の館外貸出しを行っています。

利用登録後は1人10冊まで2週間、中央図書館では、DVD、CD、カセットテープ、ビデオテープは合わせて3点まで1週間の貸出しとなります。

③ リクエスト制度

求める図書が見当たらないときは、リクエストをすることができます。リクエストを受けた図書が貸出し中の場合は、返却後、受付順に貸出ししています（リクエストの取り置きは、ご用意ができてから10日間）。図書館で所蔵していない図書の場合は、新たに購入したり、他の図書館から借り入れるなどして、なるべく早く貸出しができるようにしています。ただし、相互利用各市の在住者は、リクエストできません。

④ 団体貸出し

地域文庫や読書会等を対象に図書の団体貸出しを行っています。2008年度には185団体、17,700冊を貸出ししています。

⑤ 学校図書館支援貸出

市立小・中学校図書館への学校図書館支援貸出（配本システム＝軽自動車メールカー運行による配本）を行っています。2008年度には26校の小・中学校から依頼があり、1,295冊を貸出ししています。

(2) その他のサービス

① レファレンス・サービス

調べたいこと、知りたいこと、読みたい本のことなどできる限りの相談に応じています。

② ハンディキャップ・サービス

目の不自由な方に録音図書・点字図書の貸出、製作や対面朗読を行っています。2008年度は3,472タイトルを貸し出し、413回の対面朗読を行いました。また、来館が困難な方に

は市民ボランティアのご協力により宅配貸出のサービスも行っていきます。2008年度は389件、1499点を宅配しました。

設備としては各館に車いすで利用できるトイレやスロープ等があります。

③ 集会行事

講演会、映画会、おはなし会を実施しています。

④ 児童サービス

2009年3月末現在で、6館の所蔵は100万冊を超えていますが、そのうちの約23%が児童図書です。各館とも児童コーナーの充実に努めており、いつも子どもたちでにぎわっています。このほか、図書館では、おはなし会、子ども映画会などの行事も行っていきます。



おはなし会（乳幼児版）

⑤ 広報活動

図書館報、新刊案内・行事案内など定期的に発行しています。

⑥ 移動図書館車の巡回

市民が身近に図書館を利用できるよう、図書館の整備を進めていますが、未設置の地域には、3台の移動図書館車「そよかぜ号」が2週間に1回巡回し、66か所で貸出しを行っています。



移動図書館車

図書館

(3) 町田市立図書館協議会

図書館協議会は、図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の主催する事業及び図書館奉仕について、審議等を行っています。

図書館別AV(視聴覚)資料数 2009年3月31日現在

区分 館名	AV分類別資料数					合計
	CD	CT	LD	VTR	DVD	
中央	28,819	2,595	4,619	7,730	1,331	45,094
さるびあ	—	—	—	7	—	7
鶴川	—	—	—	8	—	8
金森	—	2	—	9	—	11
木曾山崎	—	2	—	28	—	30
堺	—	4	—	12	—	16
文学館	—	—	—	—	—	0
合計	28,819	2,603	4,619	7,794	1,331	45,166
前年度	28,771	2,619	4,613	8,397	1,037	45,437

※CT…カセットテープ、LD…レーザーディスク

2008年度 町田市立図書館統計書

2009年3月31日現在

区分 図書館名	蔵書数					有効登録者数 一般・児童計	団体登録数	利用者数		移動図書館 巡回数	開館日数
	一般図書	児童図書	図書合計	うち 開架	AV合計			利用者数計	(内移動図書館)		
中央	477,437	65,496	542,933	297,372	45,094	120,621	185	565,732			294
さるびあ	82,439	48,643	131,082	122,679	7			137,288	(20,071)	1,013	301
鶴川	32,317	21,082	53,399	43,719	8			133,858			302
金森	91,002	41,268	132,270	114,080	11			223,607			302
木曾山崎	42,468	24,576	67,044	60,926	30			110,230			302
堺	48,525	28,692	77,217	65,449	16			60,153	(10,798)	558	302
文学館	13,664	1,412	15,076	4,090	0			2,848			302
合計	787,852	231,169	1,019,021	708,315	45,166			1,233,716	(30,869)	1,571	2,105
前年度	772,614	227,734	1,000,348	708,690	45,437	121,405	178	1,182,124	(30,318)	1,519	2,066

2008年度 図書館別貸出状況

2009年3月31日現在

区分 図書館名	個人貸出冊数・点数										団体貸出(地域文庫)				ハン ディ キャ プ 資 料 (団体)	その 他 の 貸 出 (庁 内 貸 出 等)	ハン ディ キャ プ 資 料 (個人 貸出)	貸 出 総 合 計
	図書資料					AV資料					図書資料							
	一般 図書	地域 資料	児童 図書	雑誌	計	CD	CT	VTR	DVD	計	一般	児童	雑誌	計				
中央	1,094,669	4,879	184,289	64,485	1,348,322	187,710	2,544	43,733	34,790	268,777	300	1,760	139	2,199	260	7,159	1,990	1,628,707
さるびあ	269,077	587	123,892	32,802	426,358	11	4	53	—	68	138	6,128	48	6,314	0	0	0	432,740
鶴川	274,917	757	169,681	29,947	475,302	—	—	0	—	0	32	1,078	7	1,117	0	0	1	476,420
金森	532,082	942	340,579	61,184	934,787	—	—	1	—	1	567	2,967	60	3,594	0	0	0	938,382
木曾山崎	247,265	572	130,107	24,304	402,248	10	—	1	—	11	51	551	17	619	0	0	0	402,878
堺	111,619	257	75,697	10,847	198,420	—	—	—	—	0	240	827	1	1,068	0	0	0	199,488
さるびあ 移動図書館	50,300	23	51,660	6,351	108,334	—	—	—	—	0	98	1,059	3	1,160	0	0	1	109,495
堺移動図書館	19,815	13	31,905	3,156	54,889	—	—	—	—	0	615	729	135	1,479	0	0	0	56,368
文学館	3,716	62	1,556	415	5,749	—	—	—	—	0	7	142	1	150	0	0	0	5,899
合計	2,603,460	8,092	1,109,366	233,491	3,954,409	187,731	2,548	43,788	34,790	268,857	2,048	15,241	411	17,700	260	7,159	1,992	4,250,377
前年度	2,451,452	7,257	1,064,132	223,563	3,746,404	187,545	2,816	56,584	25,906	272,851	3,425	15,762	595	19,782	307	8,721	1,995	4,050,060

※ 団体貸出はさるびあ図書館計上分(地域文庫等185団体のみ)を計上。その他の貸出(庁内貸出等)は中央図書館に一括計上。

町田市民文学館ことばらんどは、1997年、故遠藤周作氏の蔵書・遺品の寄贈をきっかけにおこった「町田市に文学館を」の声に応え、2006年10月に開館しました。この間、小説家八木義徳氏や桜田常久氏、作詞家宮川哲夫氏の資料など、町田ゆかりの文学者の資料が次々と寄贈されました。これら後世に伝えるべき町田の文化遺産を収集し、保存・公開を行うことが当館の大きな目的であり、市民が文学を通し出会い、交流し、その成果を発表しあえる「市民の文学活動」の拠点となることを目指しています。

中心市街地に隣接する、かつては公民館として親しまれていた立地や、図書館との密接な連携も当館の特徴です。町田の文学資源を繋ぐネットワークの要として機能するとともに、展示や講演会を通じて文学の新たな魅力を伝え、「ことば」のもつ力との出会いをお手伝いします。

(1) 施設概要

- 所在 町田市原町田4-16-17
- 電話 739・3420
- 構造 鉄筋コンクリート、地下2階、地上3階建て

(2) 施設内容

- 1階 文学サロン、資料閲覧室、市民研究員室、印刷室
- 2階 展示室、大会議室
- 3階 会議室（6室）、保育室

(3) 利用案内

- 開館時間 会議室・文学サロン 午前9時～午後10時 展示室・資料閲覧室 午前10時～午後5時（展示室入室は午後4時30分まで）
- 休館日 月曜日（祝日・振替休日のときは開館）、第2木曜日（祝日の場合は翌平日）、12月29日～翌年1月4日、特別整理日

(4) 各種機能

① 図書館機能

町田ゆかりの文学者の著作や研究書、市民著作、その他雑誌、文学全集、児童書などを文学サロン、資料閲覧室で閲覧することができます。また、辞・事典類や他の文学館の情報ファイル、俳句や短歌の新聞等も館内でご覧になれます。

さらに、町田市立図書館の利用券を使って資料の貸出し、リクエスト制度を利用することができます。その他、文学資料に関する相談（レファレンスサービス）にも積極的に応じています。



町田市民文学館全景

② 資料の収集・保存・展示機能

- 収集・保存

町田ゆかりの文学者の資料を中心に、文学資料の収集・保存をしています。

- 調査研究

ゆかりの文学者の資料の調査研究及び情報の提供を行っています。市民が主体的に研究を行う「市民研究員制度」を実施し、2008年度には「町田文学散歩ガイドマップ」を作成しました。

- 展示会

展示会では町田ゆかりの文学者を取り上げる展示会を中心に子どもたちも楽しめる企画展、年数回の小企画展を行っています。



開館記念展、展示室写真

③ 学習機能

文学館では「町田の文学」の魅力を発見し、「文学のおもしろさ」や「ことばの力」に触れることができる講座、講演会、おはなし会等を開催しています。

○ 講座

乳幼児と保護者を対象に「ちちんぷいぷい」、小学生を対象に「ことばであそぼう!」、大人のためのおはなし会など「ことばを楽しむ」定期的な活動のほか、連句講座や文学講座、児童文学講座など、市民の生活を豊かにするとともに生きる力となるような、文学の講座の実施を目指しています。また講座終了後のサークル作りの援助も行っています。

○ 講演会

展示に関連したテーマでの講演会、町田ゆかりの文学者を紹介する「町田ゆかりの作家」シリーズ、作家の素顔や作品に迫る「作家とひと時」、その時々にあった文学をテーマに「文学万華鏡」など、文学者や作品の魅力に触れ、「文学はおもしろい」のメッセージを発信します。

④ 施設貸出機能

町田市施設案内予約システムに登録できる団体でその活動内容が文学に関する研究・創作・読書会・朗読会等である場合、文学館を「ホームグラウンド」として登録することができます。

「ホームグラウンド」登録をした団体は、抽選申し込み（施設使用の2ヶ月前）に参加できます。

施設使用料

区 分	定員 (人)	午前 (円)	午後 (円)	夜間 (円)	全日 (円)
大会議室	54 (机あり) 108 (机なし)	1,900	2,200	2,500	6,000
第1会議室	12	300	400	500	1,100
第2会議室	12	300	400	500	1,100
第3会議室	6	200	200	200	500
第4会議室	12	300	400	500	1,100
第5会議室	12	300	400	500	1,100
第6会議室	30	900	1,100	1,200	3,000
保育室	12	500	600	700	1,700

※第1・2、第4・5は合わせて24人で利用できます。

※施設貸出時間は午前9時～午後12時30分まで、午後1時～5時まで、夜間午後5時30分～10時まで、全日午前9時～午後10時までとなります。